

ミヤマフタバラン

Listera nipponica Makino

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県において極めて稀産の植物である。(現況:RO)

形態

茎は繊細で直立、中部に濃緑色、卵円形で無柄の葉2枚を対生する。花は小形で緑褐色、3~10花を総状につける。唇弁は基部の左右に耳状裂片があり、先端は2片に切れ込む。唇弁の裂片は楕円形、円頭。

国内分布

北海道、本州中北部。四国や九州の一部に産する。さらに千島、ウスリーに産する。

県内分布

白山高地区。

生態など

開花期は7~8月。

生育環境

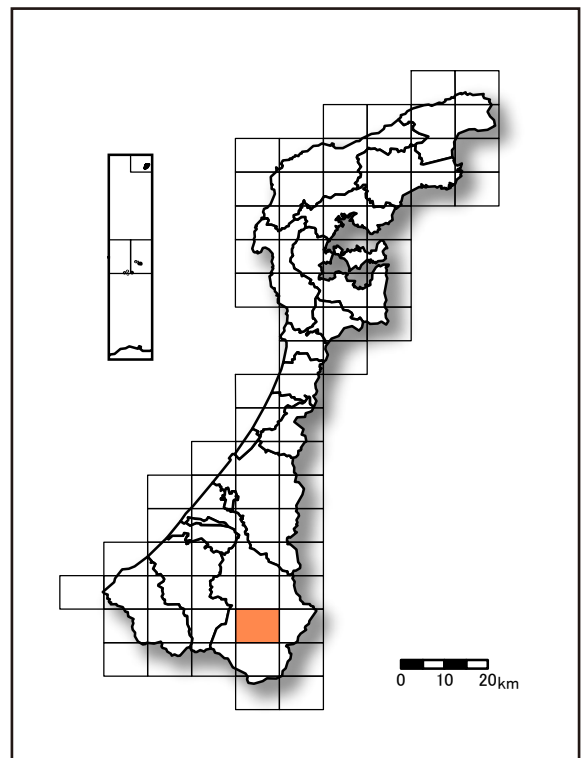
亜高山帯の針葉樹類。

危険要因

園芸採取。



白井伸和・2008年7月20日・白山



県内の分布